

第7回整備新幹線小委員会 議事要旨

平成23年3月14日(水) 10:00~12:00

於：4階幹部会議室

(「収支採算性及び投資効果の確認に関するとりまとめ」に関する委員からの主な意見)

【収支採算性について】

- ・ JRの儲けのためにやっているわけではないので、営業主体の受益は貸付料として放出されることをとりまとめに書いておいておいた方がいい。

【投資効果について】

- ・ 長崎ルートの子陽新幹線への乗り入れの想定の妥当性に関して、世間が抱いている疑問にはしっかり答える必要があるのではないか。
- ・ 子陽新幹線への乗り入れについては、まだ技術開発が完全に終わってないフリーゲージトレインに対して実務者が懸念するのは当たり前のことであり、現時点で何本乗り入れるかに一喜一憂しても意味がないのではないか。
- ・ ストロー効果については、地域の個性や努力次第で吸う側にも吸われる側にもなるということをとりにまとめに盛り込んではどうか。

【フリーゲージトレインについて】

- ・ 既存の対面乗換や改軌等の既存の手段を否定するのではなく、軌間が異なる路線での乗り換えを車両技術で克服する新しい方策としてフリーゲージトレインが出てきたという位置づけとすべき。
- ・ 北陸の雪対策等、耐久性以外の課題がないわけではないことにも留意が必要。

(了)